

ついに全日本が

「全日本？南魚沼で？」正直、驚きました。国内最高の全日本自転車競技選手権大会ロードレース。昨年、その開催地の引き受けを打診されたときのことです。「ぜひ」と日本自転車競技連盟の役員から内々に。まずは運営・協力の第一人者である、南魚沼サイクルフェスタ実行委員会のみなさんなど、関係者の気持ちを聴かなければならない。確認すると、「やりましょう！」、尋ねる私が気圧されるほどの意気込み。その後の、私への橋本聖子連盟会長からの直接の電話。断る選択肢はありませんでした。6月末、三国川ダムでいよいよ開催されます。

2009年の国体、2012年のインターハイの開催成功の経験を経て、現在に至る南魚沼の自転車事業の系譜。本年第11回を数える実業団全日本ロードレース。イベントとして根付いたグルメライドや6年目となる六日町市街地を周回する疾走感あふれるクリテリウム。「実は、魚沼の名は自転車競技界ではみなさんが思う以上に有名になっていて、実績も高く評価されています」と関係者から。会場のダム周遊道路は県道。今日に至る県のご理解や国交省三国川ダム管理事務所との全面協力、そして何より関係者の長い努力があつてこそ。感謝に堪えません。

一方、令和2年から当市と湯沢町、魚沼市が進めている「GCR、雪国グローバルデンサイクルルート」のナショナルサイクルルート（国指定で現在全国に6カ所のみ）認定の運動は、本年3月に国の審査委員会で最終選考ルートに。6月、委員会による最後の現地視察が予定されていて、その判断が出れば8月頃に正式決定か、という最終段階を迎えています。多くの時間と努力。このふたつの流れが今年、奇しくも最高潮に。願いは叶うか!?

市長就任以来、自転車街おこしに繋げようとして取り組むみなさんの熱意を見てきました。その兄貴分のような一人で、市長室にもよくやって来られ熱く夢を語っていた五十沢の小杉時夫さん。残念ながら一昨年急逝されましたが、今存命なら、どんなに喜んだらうかと思えます。ついに全日本ですよ、小杉さん。

健康ひろば



【問合せ】健康推進課 ☎773・6811

「こころのAIチャット相談」を利用してみませんか

こころの健康づくりの一環として、市民の誰もが安心して悩みを相談できるよう24時間相談に対応する、傾聴AI相談窓口を試行的に導入します。

「こんなこと話していいのかな」「誰かに話したいけど電話は気が重い」という時などにご利用ください。

試行期間 5月1日(金)～7月31日(金)

AI相談の特徴

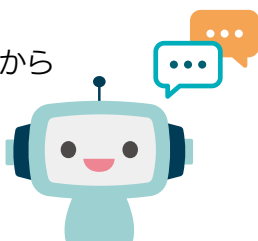
- 匿名（ニックネーム）での相談が可能です。
- 時間を気にせず、24時間いつでも相談できます。
- 傾聴と共感に特化しているため、気持ちや考えの整理に役立ちます。
- 専門職による相談を希望する場合は、相談窓口を案内します。

利用方法

QRまたは市ウェブサイトからご利用ください。



ご利用は



救急医療 ～夜間などに困ったときは～

電話相談

時 月～土曜 18:00～翌日8:00
日曜・祝日 20:00～翌日8:00

・新潟県救急医療電話相談

対 15歳以上

☎025・284・7119(#7119でも可)

・新潟県小児救急医療電話相談

対 15歳未満

☎025・288・2525(#8000でも可)

LINEで相談「AI救急相談アプリ」

救急医療の相談や緊急度の判定ができます。

全国版救急受診アプリ「Q助(きゅーすけ)」

緊急度判定を支援し、利用できる医療機関や受診手段の情報を提供します。事前にアプリをダウンロードして、いざというときに備えましょう。

休日・夜間救急 連絡先

- ・南魚沼市民病院 ☎788・1222
- ・魚沼基幹病院 ☎777・3200
- ・齋藤記念病院(脳神経外科救急) ☎773・5111

詳しくは



市ウェブサイト



AI救急相談アプリ



総務省消防庁ウェブサイト

